

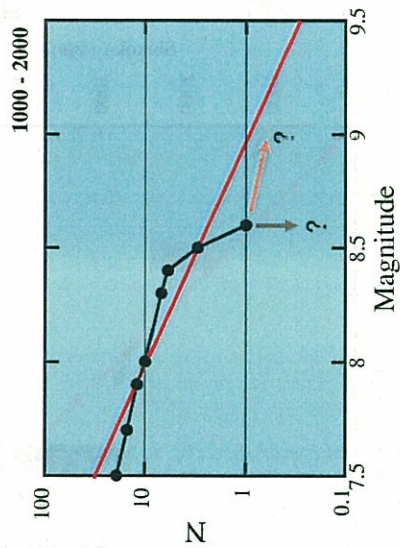
東海から琉球にかけての 超巨大地震の可能性

名古屋大学大学院環境学研究所 古本宗充



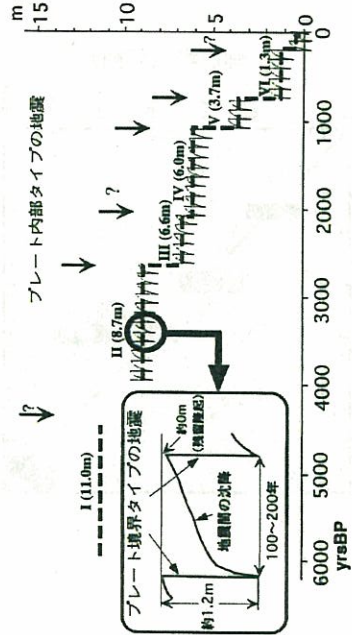
西南日本でのG-R関係

過去1000年間の東海から琉球にかけての地震におけるマグニチュード-累積頻度の関係を示す直線は $b=1$ とした場合である。異として $M=8.6$ 程度が最大(頭打ち)の地震規模か? 素直に延長すれば、スマトラ地震規模($M=9.2-9.3$)の地震は2~3千年に一度くらい発生しても良い。



室戸岬の隆起

隆起はプレート境界タイプの地震の残留隆起の蓄積ではない(例えば、前巻、1999)。千年単位の間隔で起るイベントによる変位の蓄積である。この変位はプレート境界タイプの地震とは異なる空間分布を示す。



前巻 (1999)